

西高野街道  
高野街道  
ウォーキングマップ

定福寺

慈尊院

丹生都比売神社

高野山 根本大塔

堺市役所21階展望ロビー

西高野街道・天野街道分岐

おわり坂

天野酒蔵



堺市の大小路から西高野街道は始まります。堺市役所を過ぎ、竹内街道との分岐点にさしかかって、右に進むと仁徳天皇陵古墳が見えます。余裕があるようなら仁徳天皇陵古墳の周りを1周して、古代ロマンに触れるのも楽しいです。ここを過ぎたあたりから、関茶屋などは昔のまちなみが残っており、街道の雰囲気を感じられます。堺市内は、新しい「西高野街道」の石碑が建っており、目印には最適です。

堺市 堺駅 → 北野田駅

歩行距離: 9km  
標準歩行時間: 2時間15分

アクセス

なんば駅	南海本線	堺駅	特急 約10分
天王寺駅	阪堺電車	住吉駅	阪堺電車 約15分
橋本駅	南海高野線	堺東駅	南海高野線 急行 約34分
河内長野駅	南海高野線	なんば駅	南海高野線 急行 約20分
河内長野駅	近畿大阪線	大阪阿部野橋駅	近畿大阪線 準急 約40分
河内長野駅	南海高野線	橋本駅	南海高野線 急行 約20分



堺市 北野田駅 → 河内長野駅

歩行距離: 10km  
標準歩行時間: 2時間30分

アクセス

なんば駅	南海高野線	北野田駅	南海高野線 急行 約20分
橋本駅	南海高野線	北野田駅	南海高野線 急行 約30分
河内長野駅	南海高野線	なんば駅	南海高野線 急行 約30分
河内長野駅	近畿大阪線	大阪阿部野橋駅	近畿大阪線 準急 約40分
河内長野駅	南海高野線	橋本駅	南海高野線 急行 約20分



堺市と大阪狭山市の市境を進むと、三叉路に建っている十一里の里程石が見えます。岩室の交差点の歩道橋を渡り、しばらくいくと小さな道標が建つ天野街道との三叉路に至ります。これを左に進み坂を下ると、三津屋地蔵を右手に見て、河内長野市の中高野街道との合流地点に至ります。その先の右手には清明塚があり、国道170号線の高架の下を通ると、もう少しで河内長野駅前の西高野街道の終点です。



# 河内長野市 河内長野駅 → 天見駅

歩行距離: 8km  
標準歩行時間: 2時間40分

## アクセス

なんば駅	南海高野線	河内長野駅	急行 約30分
天見駅	南海高野線	河内長野駅	急行 約9分
天見駅	南海高野線	河内長野駅	急行 約12分
なんば駅	近鉄長野線	河内長野駅	準急 約40分
橋本駅	南海高野線	河内長野駅	急行 約20分



ここから高野街道です。河内長野駅前から大きなクスノキの下を通り、国道371号を横断した後、坂道を上ると、緑豊かな烏帽子形八幡神社です。坂道を下ると、三日市町駅です。国道371号を進むと、右手に丘陵へ続く坂道があり、下ると石仏寺があります。石仏寺からの国道は車が多く、歩道がない区間もあるので、美加の台駅から天見駅までは国道の脇道をのんびりと歩くことがおすすめです。

# 河内長野市 橋本市 天見駅 → 橋本駅

歩行距離: 11km  
標準歩行時間: 3時間40分

## アクセス

なんば駅	南海高野線	天見駅	急行 約40分
橋本駅	南海高野線	天見駅	急行 約12分
橋本駅	南海高野線	なんば駅	急行 約50分

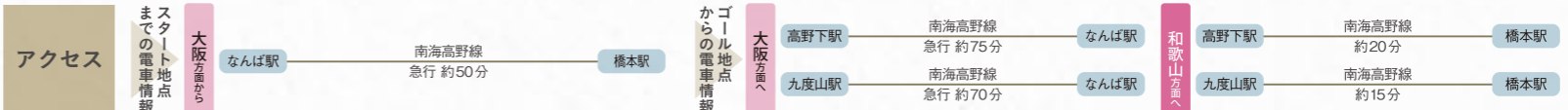


天見駅から集落の中を抜け、一度、車の多い国道を歩きます。気をつけてください。紀見トンネルの入口手前を右に進みます。紀見峠を上りきったところが、六里石のある和歌山県の最初の宿場町です。ここから紀の川までは下り坂です。坂を下りきると、橋本の市街地に入り、さらに進むと紀の川の堤防に出ます。昔はここから対岸まで舟で渡っていました。その頃の常夜灯と四里石があります。



橋本市 九度山町 **橋本駅 → 高野下駅**

歩行距離: 8km  
標準歩行時間: 2時間40分



紀の川を橋本橋で渡り、右に進むと、和歌山県ふるさと建築景観賞を受賞した清水のまちなみがあります。しばらく、紀の川沿いの雰囲気のある街道を進むと、三里石のある学文路駅前に出ます。ここからハイキングコースにもなっている山登りの道です。学文路駅を左手に見ながら国道を西方向に進むと、途中九度山駅があり、さらに進むと高野参詣道町石道があります。

橋本市 かつらぎ町 九度山町 高野町 **学文路駅 → 不動坂口女人堂**

歩行距離: 9.5km  
標準歩行時間: 3時間26分



学文路駅から東に少し戻り、坂道を上っていくと、本格的な山の中を歩くハイキングコースとなります。街道の途中には、石童丸の物語で知られる学文路苅萱堂があり、このあたりは、紀の川沿いの市街地を一望できます。河根を抜け、さらに坂道を上ると、静かな山の中に日本最後の仇討ちの黒石と殉難七士の墓を見つけられます。これを過ぎると、もう一息で高野街道の終点の女人堂です。



**【橋本市】定福寺**  
橋本市賢堂にある高野山真言宗の寺院です。高野参詣道黒河道が寺の東側をとり、黒河道に向かって石段の参道を開いています。境内にある九重の塔は鎌倉時代に建立されたもので、本尊の阿弥陀如来坐像は平安期の10～11世紀のものでいわれています。

**【九度山町】慈尊院～女人高野～**  
816年に弘法大師空海が、高野山開創に際し、高野山参詣道の表玄関として伽藍を草創し、一山の庶務を司る政所、高野山の宿所、冬季の避寒修行の場とされた寺院。弘法大師空海の御母公玉衣御前が、慈尊院に迎えられ、月に九度高野山上より母公を訪ねたことが「九度山」という地名の由来と言われます。

**【かつらぎ町】丹生都比売神社**  
1700年以上前の創建と伝わる古社で、紀伊国一之宮。丹生都比売大神とその御子である高野御子大神など四神をお祀りしています。弘法大師空海は、黒と白の犬を連れた高野御子大神の化身である狩人に導びかれ、神領地を授かり高野山を開いたと言われます。

**【高野町】金剛峯寺**  
高野山真言宗の総本山。広い境内には、日本最大級の石庭・蟠龍庭や狩野派の襖絵など、多数の見所があります。他にも高野山には、19もの堂塔が建ち壮大な空間が広がる壇上伽藍や、老杉と20万基を超える供養塔が建ち並ぶ弘法大師信仰の中心聖地 奥之院もあります。



**高野参詣道 町石道**  
高野山への参拝者が巡った主な7つの道(高野七口)の中で、九度山町の慈尊院から高野山へ通じる表参道を高野参詣道町石道といいます。

**九度山駅から壇上伽藍**  
歩行距離: 20.9km  
標準歩行時間: 6時間25分

# 西高野街道沿いの見どころ

## 堺市役所 21 階展望ロビー

地上80mから360度の展望が楽しめる回廊式ロビー。西高野街道や仁徳天皇陵古墳など歴史を秘めた堺のまちが眼下に広がり、遠く六甲山、あべのハルカス、生駒・金剛山が見渡せる人気スポットです。夜には大阪南港の夜景観賞も楽しむことができます。



## 天野街道との分岐

大阪狭山市今熊では、西高野街道と天野街道の分岐を示す道標があります。ここから東へ進むと高野山に、西へ進むと天野山金剛寺(河内長野市)に至ります。



## 天野酒酒蔵

享保3年(西暦1718年)に創醸した歴史ある酒蔵。奥河内の地酒である「天野酒」は、室町～戦国時代にかけて、豊臣秀吉など多くの著名な武将にも好まれました。また、酒蔵周辺は高野街道の情緒ある古い町並みが今でも残されており、現在の蔵元である西條合資会社の旧店舗は国の登録有形文化財に指定されています。



## 仁徳天皇陵古墳

墳丘長486m、前方部幅307m、日本最大の前方後円墳でクフ王ピラミッドと秦始皇帝陵と並ぶ世界三大墳墓といわれています。正面の参拝所からその神秘的な雰囲気を感じることができます。仁徳天皇陵古墳をはじめとする百舌鳥古墳群は、東西・南北4kmの範囲に広がり、現在は44基の古墳が残っています。



## おわり坂

大阪狭山市今熊に所在する、大阪狭山や富田林の市街地と葛城山・金剛山が眺望できる急な坂道です。おわり坂は、その地名に山の地形が終わる所、狭山池改修に関わった土木技術集団尾張衆の呼び名、高野山参詣者が堺方面へ帰る際の最後の上り坂が終わる場所といった伝承があり、現在も地域の人々から「おわり坂」と親しみをもって呼ばれています。



## あまみ温泉 南天苑

東京駅なども手掛けた名建築家・辰野金吾氏が設計し、国の登録有形文化財となっている奥河内屈指の名宿。もとは堺大浜にあった“潮湯”を昭和10年に移築し、高野山参拝のための温泉旅館にしたのがはじまり。四方を山に囲まれた自然の中で、日本庭園を望みながらの食事と良質な天然温泉を堪能することができます。



資料：歴史の調査報告書 第二集「高野街道」 大阪府教育委員会

## 西高野街道とは

西高野街道は平安時代から鎌倉時代初期に開かれ、室町時代には高野聖の納骨や庶民の参詣の道となり、江戸時代には大阪、堺の町人の米・酒・綿など通商の幹線道としてにぎわいました。

現在、西高野街道の起点は堺市役所近くの大小路橋で、高野山女人堂とを結び、その間には安政4年(1857)の2月から9月にかけて建立された13基の里石がほぼ1里(4km)ごとに建ち、堺・榎元町の一三里道標石から高野山神谷の一里道標石まで、すべて現存しています。

## 発行 / 西高野街道観光キャンペーン協議会

地図提供 / 大阪府 都市整備部交通道路室道路整備課

掲載されている内容は平成31年3月現在のものです

PRINTED WITH SOYINK 環境に配慮し、大豆インキを使用しています。